

さ自由民主党 災害対策特別委員会
梅雨前線に伴う大雨及び令和元年台風第5号に係る現地視察

報 告 書

令和元年8月1日（木）

【メンバー】

今 村 雅 弘	災害対策特別委員会 委員長
佐 藤 信 秋	災害対策特別委員会 委員長代理
坂 本 哲 志	災害対策特別委員会 事務局長
進 藤 金日子	国土強靱化推進本部 幹事
森 山 裕	鹿児島県連会長

【概 要】

- 6月下旬から梅雨前線が西日本から東日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため前線の活動が活発となった。
- 6月28日から7月5日までの総降水量は、鹿児島県では500ミリを超えたところがあり、記録的な大雨となった。
 - ◆ 主な1時間降水量（アメダス観測値）

鹿児島県 曾於市 大隅	78.0ミリ
-------------	--------
 - ◆ 主な24時間降水量（アメダス観測値）

鹿児島県 鹿屋市 吉ヶ別府	472.5ミリ
鹿児島県 曾於市 大隅	428.0ミリ
鹿児島県 鹿屋市 輝北	428.0ミリ
- 記録的な大雨になった鹿児島県では、大規模ではないが多数の箇所で崖崩れや道路の陥没、畑・水田への土砂流入、農業用水路の崩壊など、住民の生活や一次産業に対する被害が出ている。
- 県道や市道の復旧については、県や市がその作業にあたっているが、住民の生活の基盤となる道路の一日の早い復旧に向けて、財政的措置をはじめとした救済措置が必要である。
- また、農地への土砂流入により農地の復旧を諦める農家も出ており、国としての災害復旧に取り組む必要がある。
- 例年8月、9月は、鹿児島県内は台風の通り道となり、今般の梅雨前線に伴う大雨、台風5号では直接に被害が出ていない地域であっても、地盤が緩み、土砂災害の危険度が非常に高まっている地域では、台風時に大きな被害を受ける可能性を含んでいるため、早急な対策が求められている。

【日 程】

令和元年 7月26日（金）

13:10～13:40 曾於市大隅地区

- ① 菅牟田地区 / 県道陥没現場
- ② 岩川地区 / 山崩壊による田畑埋没現場

14:00～14:40 志布志市有明地区

- ① 野井倉用水 / 水路崩壊現場
- ② 丸岡地区 / 道路脇崩壊現場
- ③ 丸口製茶 / 茶工場裏崖現場

15:30～15:50 鹿屋市串良総合支所 / 串良永和地区浸水被害に関する概要説明

16:00～16:30 串良永和地区 / 浸水被害地区

17:10～17:40 一番郷・檜久保線（市道）被災現場

● 曾於市 大隅地区

菅牟田 県道陥没現場



岩川 山崩壊による田畑埋没現場



● 志布志市 有明地区

野井倉用水 水路崩壊現場



丸岡地区 道路脇崩壊現場



● 鹿屋市 串良総合支所での概要説明

- ・ 肝属川水系串良川の増水に伴い桶門を閉鎖したため、内水が永和地区に停滞。
- ・ 床上及び床下新巢の被害が発生。
- ・ 排水ポンプ施設4基を設置し対応するも、予想を上回る豪雨により排水が追い付かず、浸水被害が発生。
- ・ 中西 茂 鹿屋市長より要望書を受領。
(別紙参照)

● 鹿屋市 輝北町

一番郷・檜久保線(市道)土砂災害現場

